

1

都市の受益：

売電によって得られた利益が都市に立地する事業者届けられる

地方の受苦：

地域の自然や住民への配慮が欠けた発電設備が地方に建設される

2

154億8千万円

3

これまでの再生可能エネルギー開発では、地方で作られたエネルギーの売電による利益は都市の事業者や金融機関に届けられるだけだった。札幌市と稚内市の連携協定では、都市の公共施設や事業者が、地方で作られた余剰分の再生可能エネルギーを購入することで、地方に経済効果をもたらす仕組みとなっている。

4

高森町は地域の電力会社と協定を結び、町内の太陽光発電で生み出された電力を電力会社が買い取り、その一部を町が購入し、町の施設で使うことにした。また、町は太陽光発電や蓄電池を導入する町内の家庭や事業所を対象にした補助金制度を拡充した。

5

これまで、都市に立地する大規模な事業者が多くの資金を調達し、広く安い土地を地方に求め、大規模な再生可能エネルギー施設を建設してきた。この売電による利益は都市に立地する事業者のものになるだけで、施設のある地元は金銭的に潤わず、地方の経済的メリットが少なかった。また再生可能エネルギー施設建設によるトラブルなどの不利益を被る可能性もあり、地方は再生可能エネルギーに対して幻滅し始めている。

この課題解決として自らの地域資源を活かした地方主導の小規模な再生可能エネルギー活用の取り組みが有効である。地域の行政や住民が資金を出し、家庭用太陽光発電などの小規模な再生可能エネルギー施設をつくる。生産されたエネルギーを地域内で利用することでエネルギーの地産地消を行う。これまで都市にある大手電力会社から購入していた電力を、地域内で発電した電力を購入するエネルギーの地産地消を行うことで、地域外に流れる資金を地元に取り戻すことになる。地域内の経済循環ができ、地元が経済的

に潤うことになる。地方の住民においても、自宅の屋根に太陽光発電を設置したり、自ら住む地域の再生可能エネルギーに出資したり、地域で生産された再生可能エネルギーを利用することで、地域への経済循環などに貢献することができる。

都市では再生可能エネルギーの生産することはできず、ゼロカーボンを目指すことは難しい。大規模事業者による再生可能エネルギーを購入することでゼロカーボンを目指すことも可能であるが、地方に受苦をつけまわしていることになる。都市側の行政や市民が取れる対策としては、地方主導で行っている再生可能エネルギー事業の余剰分の電力を購入することが考えられる。このような取り組みで、地方が利益を得ることができれば、受苦をつけまわしている状態が解消できると考えられる。

出題意図

総合政策学部では、入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）として以下の3点を上げている。

(1) 現代社会における多様な事象を把握するための前提知識として、高校卒業相当の基礎的かつ全般的な学習内容を身に付けている人。特に読解力（英語を含む）、文章作成能力、基礎的な数学的思考能力を重視する。(2) 社会や自然環境などに広く関心を持ち、それらの理解に必要な情報を収集できる。さらに収集した情報を適切に関連付けながら問題を発見し、その解決策を導くための論理的思考能力を身に付けている人。(3) 自分の考えを適切に表現し、積極的に他者の考えを理解しようとする人を求めている。

本問題は、上記受け入れ方針のもと、近年大きな社会問題となっている「再生可能エネルギー開発」をテーマとし、都市・地方間の格差を考える問題とした。設問から読解力、文章作成能力、基礎的な数学的思考能力を計るとともに、再生可能エネルギーにおける都市と地方の格差（「都市が受益を得て、地方に受苦をつけまわす」）の課題について課題文から発見し、都市と地方の格差の解消のための地方や都市での取り組みについて、環境政策といった視点に留まらず、地域の経済、地域社会など様々な視点を関連付けながら総合的に探求し、論理的に問題を解決しようという思考プロセスを備えているかどうかを計ろうとするものである。

1 本問題は、再生可能エネルギー開発における都市と地方の格差について、課題文の中から正しく読み取ることができるか、読解力を確認するものである。

2 本問題は、基礎的な数学能力があるかを問う問題である。あわせて、地方の経済的メリットの多寡を理解することを目指している。

3 本問題は、再生可能エネルギーに関する都市と地方の間の金銭の動きを課題文から正しく読み取ることができるか、読解力を確認するものである。

4 本問題は地方の行政が再生可能エネルギー導入の事例のために取り組んでいる事柄を、課題文から正しく読み取ることができるか、読解力を確認するものである。

5 本問題は、資料(A)～(D)全体を確認し、再生可能エネルギー施設建設にあたって、都市・地方それぞれの視点から課題を発見し、その解決方法について、論理的に自らの考えを述べることを問う問題である。